

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	人文特論Ⅲ A
科目基礎情報					
科目番号	0081		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	一般科目		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	特に指定しない。				
担当教員	牧野 雅司				
到達目標					
1 地域の歴史、社会環境及び諸制度を理解する。 2 産業活動などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。 3 地域が抱える諸課題を見出し、その要因や解決策を考える。 4 自らがつかんだ問題点を他者に的確に伝えることができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	1. について理解している。	1. について概ね理解している。	1. について理解できていない。		
評価項目2	2. について理解している。	2. について概ね理解している。	2. について理解できていない。		
評価項目3	3. について考察できる。	3. について概ね考察できる。	3. について考察できない。		
評価項目4	4. について伝えることができる。	4. について概ね伝えることができる。	4. について伝えることができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	地域の歴史及び社会環境や制度を理解した上で、地域が抱える諸課題とその要因を見出し、その解決策を自ら考えることを目的とする。				
授業の進め方・方法	【授業方法】 1. 地域に関わる様々なテーマを講義形式で概説する。 2. フィールドワークを行い、自分の目で地域社会を見る。 3. 自らの考えを発表する。 【学習方法】 1. 日頃から新聞やニュースなどから社会についての情報を集めておく。 2. 自分の身の回りの社会に関心を持つ。				
注意点	【成績の評価方法・評価基準】 評価基準について、レポート (60%)、授業中に求める提出物 (40%) とする。 上記の到達目標にもとづき、各項目の理解についての到達度を評価基準とする。 【備考】 常に地域の問題を自分の問題としてとらえ、考察を深めていってほしい。 【教員の連絡先】 研究室 B棟3階 (B-309) 内線電話 8903 e-mail: m.makino@maizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること。)				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	シラバスに基づく講義内容の説明と課題の設定		
		2週	現代の地域社会と課題	1, 2, 3	
		3週	地域振興策と諸問題	1, 2, 3	
		4週	観光と文化財	1, 2, 3	
		5週	フィールドワーク	1, 2, 3	
		6週	地域社会と文化財 (1)	1, 2, 3	
		7週	地域社会と文化財 (2)	1, 2, 3	
		8週	地域社会と文化財 (3)	1, 2, 3	
	2ndQ	9週	フィールドワーク	1, 2, 3	
		10週	レポート作成	1, 2, 3, 4	
		11週	フィールドワーク	1, 2, 3	
		12週	レポート発表	1, 2, 3, 4	
		13週	レポート作成	1, 2, 3, 4	
		14週	レポート作成	1, 2, 3, 4	
		15週	総括	1, 2, 3, 4	
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					

	試験	発表	相互評価	実技等	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	100	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0